


令和2年度

環境経営レポート

対象期間：令和2年6月～令和3年5月



発行年月日：令和3年7月31日

 株式会社 高橋工務店

目 次

- 1 環境方針
- 2 事業概要 & 認証登録範囲
- 3 実施体制
- 4 環境目標
- 5 環境活動計画
- 6 環境目標の実績
- 7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
- 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無
- 9 代表者による全体評価と見直し結果

株式会社高橋工務店 環境経営方針

《経営理念》

「建設業を通じて、地域社会に貢献し、健康で豊かな生活文化の向上に役立ち、社会の信頼を得て発展する企業を目指す」

《環境理念》

美しい自然を将来に引き継いでいくため、環境に配慮した事業活動に際し、環境負荷の低減及び、環境保全活動に自主的・積極的に取り組むとともに、環境経営の継続的改善の推進を誓約します。

《環境保全への行動指針》

環境関連法規制は常に更新し遵守することを誓約した上で、当社は以下の活動に取り組みます。

- ① 本社・建設現場の機器、重機、車両等の燃料、電力削減等により二酸化炭素排出の推進に努めます。
 - ② 建設副産物の適正な分別等により、再資源化の推進に努めます。
 - ③ 水使用量等省資源に努めます。
 - ④ 建設現場における騒音・振動等の環境配慮、品質向上等に力を入れ、顧客重視の事業活動に努めます。
 - ⑤ 建設資材、事務用品、日用雑貨、作業服等はグリーン商品の調達に努めます
 - ⑥ 環境レポートの公表や、地域ボランティア活動等に積極的に参加し、環境コミュニケーションに努めます。
- 3 環境経営方針は全従業員に周知徹底し、励行いたします。

制定日：平成27年07月24日

改訂日：令和02年06月11日(2版)

株式会社 高橋工務店

代表取締役社長 高橋 勢治

2 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 高橋工務店 代表取締役社長 高橋 勢治

2 所在地

本社：〒031-0802
青森県八戸市小中野8丁目3-4
TEL 0178-22-7105 FAX 0178-22-7107
資材置場：〒039-1103
青森県八戸市長苗代字大古殿16

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 佐々木 謙之助
環境事務局 総務部部長 高橋 祐樹

4 事業活動の内容

総合建設業 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、解体工事業
一級建築士事務所 (株)高橋工務店一級建築設計事務所

5 事業規模

従業員数 28名 (R03.7現在)
延べ床面積(本社) 750㎡
資本金 3,000万円

売上高(百万円)

H30年度	R1年度	R2年度
951	985	1,541

6 認証登録範囲

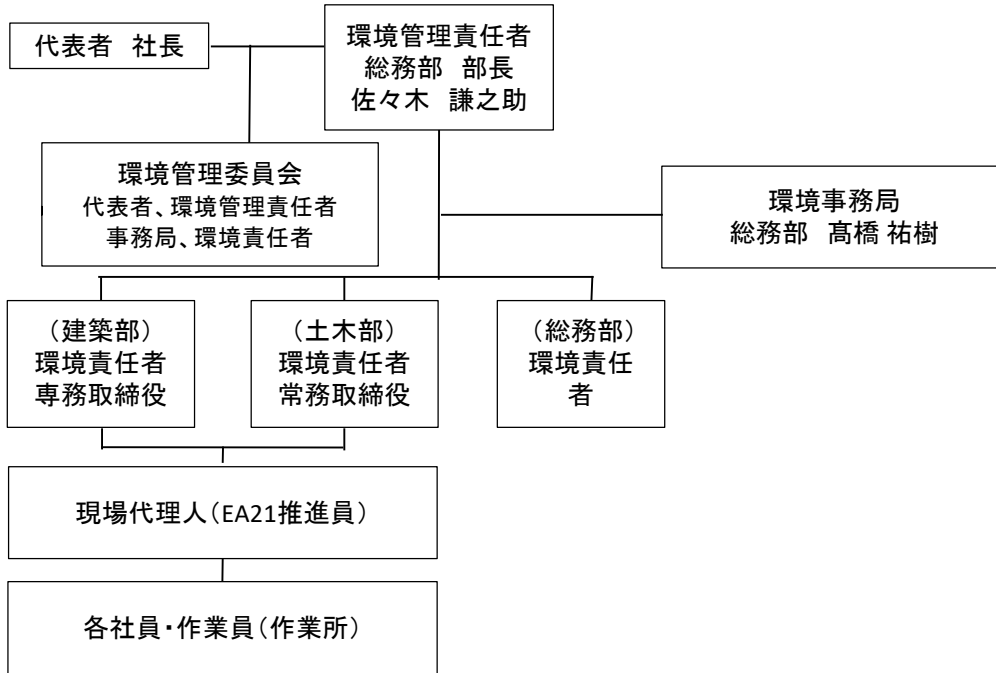
対象範囲 株式会社高橋工務店の全組織・全活動

7 会計年度

6月から翌年5月まで

3 実施体制

1 組織



2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境方針の策定。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長は代表者とし、環境管理責任者が召集する。 ・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。 ・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。 ・従業員に対する教育訓練の実施
現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> ・各現場毎の新規入場者教育時において規則を説明する。 ・毎日の作業前KY時に現場の取組項目から抜粋してKY活動を行う。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4 環境目標

1 主な環境負荷の実績

表1 主な環境負荷等の実績

項目		単位	平成27～平成29 (基準年)	平成29年度	平成30年度	令和元年度
二酸化炭素排出量の抑制	購入電力使用量	kwh	73,367	51,242	53,782	69,227
	ガソリン使用量	L	10,597	9,433	11,215	8,941
	軽油使用量	L	25,409	16,802	31,046	19,605
	灯油使用量	L	11,604	6,304	6,001	8,416
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	163,097	112,462	150,768	130,556
廃棄物の排出抑制 (建設副産物のリサイクル率)		%	93.22	38.42	66.24	75.50
環境配慮工事(手戻り工事・クレーム件数)				顧客満足度についてはISO9001において把握、活動する。		
地域活動(ボランティア・地域清掃)		回	9	6	6	6

購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(H29/12)の東北電力の実排出係数 0.548kg-CO₂/kwhを使用。

2 環境目標の設定

当社では、平成27年度から平成29年度の平均を基準として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

項目		平成27～平成29		中期目標(内単年度目標)		
		基準値	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
二酸化炭素排出量の抑制	購入電力使用量	73,367	kwh	70,432	69,699	68,965
	ガソリン使用量	10,597	L	10,173	10,067	9,961
	軽油使用量	25,409	L	24,901	24,646	24,392
	灯油使用量	11,604	L	11,488	11,488	11,488
	二酸化炭素排出量	163,097	kg-CO ₂	156,573	154,942	153,311
廃棄物の排出抑制 (建設副産物のリサイクル率)		93.22	%	95	95	95
地域活動(ボランティア・地域清掃)		9	回	11	11	11

5 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物等を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル等に取り組んでおります。

表3 主な環境活動計画の内容

項目		取組内容
二酸化炭素排出量の抑制	電力の二酸化炭素排出量の削減	<p>昼休み時や使用していない部屋等の照明消灯と、事務室の部分照明の実行</p> <p>冷暖房の温度調整(冷房28℃、暖房20℃)の推進</p> <p>ドアの開け放し防止の徹底と、ブラインドや窓の開閉による室内温度の調整</p> <p>使用していない部屋の空調の停止</p> <p>OA機器や照明器具等の省電力型への切り替え</p> <p>節電の表示を行う</p>
	車両・建設機械燃料等の二酸化炭素削減	<p>アイドリング禁止や急発進・急加速はしない等、エコドライブの励行</p> <p>タイヤの空気圧の確認等、適正な車両整備の実施</p> <p>最大積載量に見合った輸送単位の設定</p> <p>建設機械の省エネ運転の励行</p>
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	<p>暖房の温度(暖房20℃)の推進</p> <p>ドアの開け放し防止の徹底と、ブラインドや窓の開閉による室内温度の調整</p> <p>使用していない部屋の暖房停止の実行</p>
排出物抑制	産業廃棄物(建築副産物)の削減	<p>一般廃棄物の混載防止のための定期チェック</p> <p>産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとにした廃棄物の適正な処理</p>
環境配慮工事	環境保全の取組	<p>低騒音・低振動型建設機械等の使用</p> <p>工事用車両出入口の泥等のこまめな清掃</p> <p>場内側溝の油分、ゴミなどの浮遊物を除去する等、工事濁水による水質汚濁の防止</p>
その他	地域活動	ボランティア等の活動に可能な限り参加する

表4 ほか推進する環境活動計画の内容

項目		取組内容
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物の削減	<p>コピーをする際の必要枚数の把握、使用済み用紙の裏面利用、両面印刷の徹底</p> <p>ネットワークを利用した文書のやりとりや共有による不要な印刷物の削減</p> <p>コピー用紙等、資源ごみへの分別を徹底するよう、啓発文書を定期的に配布する</p> <p>資源ごみを分別保管し業者へ引渡しを行い、リサイクルを徹底する</p> <p>コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルの推進</p> <p>使い捨て製品の購入や使用を抑え、再利用できる製品を優先的に購入・使用する</p>
節水	水道水の削減(節水)	<p>節水の表示を行い節水を徹底</p> <p>蛇口等の設備の確認</p>

6 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

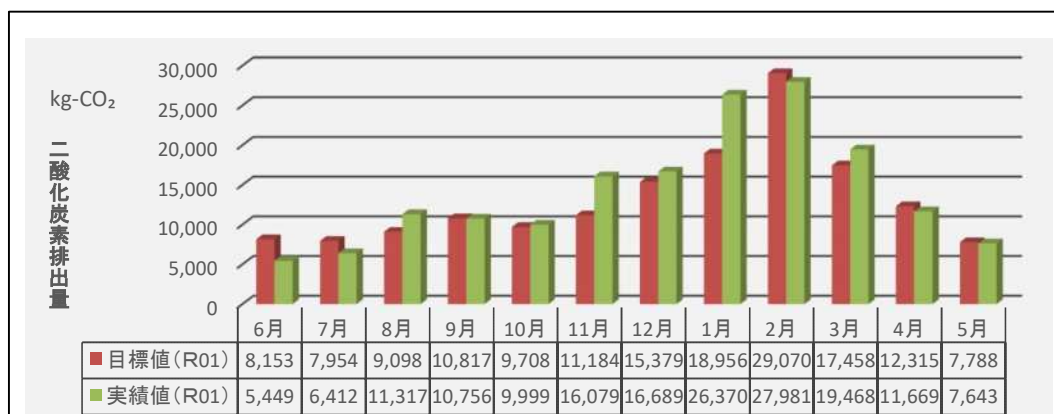
今回は、令和2年度(R2.6.1～R3.5.31)の実績についての評価結果を報告いたします。

表5 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準値	令和2年度(R2.6～R3.5)			環境目標の達成状況	
		実績値(H27～H29)	削減(増加)率(%)	目標値	実績値		
二酸化炭素排出量の抑制	購入電力使用量	kwh	73,367	6%削減	68,965	50,210	達成
	ガソリン使用量	L	10,597	6%削減	9,961	9,166	達成
	軽油使用量	L	25,409	4%削減	24,392	38,651	未達成
	灯油使用量	L	11,604	1%削減	11,488	8,452	達成
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	163,097	6%削減	153,311	169,833	未達成
廃棄物の排出抑制(建設副産物のリサイクル率)	%	93.22	2%増加	95.00	99.19	達成	
地域活動(ボランティア・地域清掃)	回	9	-	11	9	未達成	

《目標と実績グラフ》

二酸化炭素排出量の抑制



廃棄物の排出抑制



《環境活動の状況》

教育状況



空調設備の温度調整



節電の表示



節水の表示



ゴミの分別



コピー用紙 節約の表示



7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組結果の評価

表6 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	実施状況の評価	達成度	次年度の取組内容	次年度目標値
二酸化炭素排出量の抑制	電力の削減	○	電力供給会社の契約先を、再生可能エネルギー活用を含めた省エネかつ安価な電力供給会社へ切替を実施する。	56,006 (kwh)
	車両・建設機械燃料等の削減	△	引き続き取組みを継続して経過を観察する。	9,481 (L/ガソリン) 29,172 (L/軽油)
	灯油・LPG等の削減	○	本社の暖房器具の使用方法を見直していく。その他については、引き続き取組みを進めていく。	145,875 (L/灯油)
排出物抑制の	産業廃棄物	○	再資源化できる資源の利用を推し進めることができた。	99.72 (%)
環境工事配慮	環境保全の取組	-	引き続き取組みを進めていく。	
その他	地域活動	○	感染症対策によりボランティアが開催されなかった。工事現場付近の清掃活動は、出来る範囲で行った。	10 (回)

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

表7 ほか推進する環境活動計画の内容と取組結果

項目	実施状況の評価	達成度	次年度の取組内容	次年度目標値
排出物抑制の	一般廃棄物	-	引き続き取組みを進めていく。	-
節水	用水・排水	-	引き続き取組みを進めていく。	-

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について、遵守状況をチェックしたところ、違反はありませんでした。

また、創業以来、関係当局からの違反等の指摘・住民等からの苦情・訴訟等について、問題はありませんでした。

表8 主な関連法令の遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守状況
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	対象建設工事の届け出(着手7日前)	届出書の提出
	発注者への報告等	報告・記録の保管
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	多量排出事業者(1,000t/年以上)	削減計画届・報告書の提出
	産業廃棄物管理票交付状況報告	報告書の提出
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(建築物省エネ法)	建築物の建築に関する届出等	届出書の提出
石綿障害予防規則	作業計画の届け出(作業開始14日前)	届出書の提出
	作業主任者の選任	計画書の提出
八戸地域広域市町村圏事務組合火災予防条例	指定数量未満の危険物等の貯蔵及び取扱いの届出	届出書の提出

9 代表者による全体評価と見直しの結果

全体としては、システムに問題はない。

目標未達については、工事内容の影響によるところが多く、現場毎において是正処置を実施出来るか確認し、取組内容の実施率を向上することで目標達成へ努めていきたい。

活動計画の基準値は3ヵ年集計のため令和2年度もこのままの設定で継続し、それに向けて努め、自然環境への負荷低減と地域社会への益々の貢献を全社挙げて取り組んでまいります。

見直し項目	評価	改善及び指示
①環境方針	方針については、「課題とチャンス」を捉えた内容で概ね良好。	特になし。
②環境目標	R2年度では未達が2項目となった。	基準値(H30~R2年度の平均値)を元に令和3年度からの新目標に取り組む。なお、「地域活動」の目標値は基準値同とする。
③環境活動計画及び環境経営システム	本社冷暖房機の使用頻度が基準年に比べ上昇していて、電力・灯油使用量の未達が続いている。	本社の灯油に関する是正(予防)処置の実施と、引き続き使用量の削減に努める。
④その他 ()	特になし。	特になし。